

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスとんぼくスポーツ佐貫校		
○保護者評価実施期間	2026年3月9日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	2026年3月5日		～ 2024年5月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの通所満足度が高く、「安心して通所している」「楽しみにしている」といった評価が多く見られる。また、職員との意思疎通や日常的な情報共有については概ね良好であり、信頼関係が構築されている点が強みである。	日々の子どもの様子について保護者と共有し、発達状況や課題について共通理解を図るよう努めている。また、活動を通じて子どもが楽しみながら参加できる環境づくりを意識している。	子どもの満足度や通所意欲の高さを活かし、活動内容や成長の過程をより分かりやすく保護者へ伝えることで、連携の強化を図る。
2	個別支援計画の作成やモニタリング、支援内容の見直しが適切に行われており、基本的な支援体制は整っている。また、保護者との情報共有や日々の支援における対応力も維持されている。	個別支援計画に基づき、子どもの状況に応じた支援を行うとともに、支援内容の見直しやモニタリングを通して継続的な支援の改善を図っている。	支援の質の維持に加え、職員間での情報共有や振り返りを強化し、支援の標準化と専門性の向上を図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や保護者同士の交流、非常時対応に関する周知について「わからない」の回答が多く、取組の不足または情報発信が十分でない点が課題である。また、支援内容の説明や理解についても一部ばらつきが見られる。	地域交流や非常時対応について、実施状況や内容の周知が十分でないことにより、保護者に取組が伝わっていないことが要因と考えられる。	地域交流や保護者支援の機会を計画的に実施するとともに、非常時対応や支援内容についての情報発信を強化し、保護者への周知と理解の向上を図る。
2	業務改善(PDCA)や支援の振り返り、外部機関との連携、地域交流に関する取組にばらつきが見られ、組織的な運営体制の強化が必要である。	業務改善や振り返りの仕組みが十分に定着していないこと、また外部連携や地域交流を計画的に実施する体制が整っていないことが要因と考えられる。	PDCAサイクルの定着や支援の振り返りを強化し、業務改善を進める。また、外部機関との連携や地域交流を計画的に実施し、支援の質の向上を図る。
3			